

観光入込客数・消費額ともにコロナ前越え ～令和5年の京都府観光入込客数・観光消費額について～

- 令和5年の京都府観光入込客数は7,518万人（対前年比113%、令和元年比101%）
京都市を除く府域では2,490万人（対前年比108%、令和元年比120%）
- また、令和5年の京都府観光消費額は1兆6,578億円（令和元年比125%）
京都市を除く府域の観光消費額は1,211億円（対前年比129%、令和元年比133%）
でしたのでお知らせします。

1 結果概要

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各種イベントでは人数制限が撤廃され、コロナ禍前と同様の実施形態で開催されるところが多くなった。

また、全国の旅行者を対象に京都府内旅行に対する割引やクーポン券発行の支援が令和4年に引き続き実施されたことや、円安の影響等により、国内外からの観光客が増加した。

これらの結果、令和5年の京都市を除く府域の観光入込客数は令和4年比で108%、観光消費額は令和4年比で129%となった。

（参考）観光入込客数^{※1}、観光消費額^{※2}の推移

	観光入込客数(万人)					観光消費額(億円)				
	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
京都市エリア	5,028	4,361	—	—	5,352	15,366	—	—	—	12,367
竹の里・乙訓エリア	126	137	102	98	158	33	21	17	14	30
お茶の京都エリア	932	810	606	675	804	426	233	148	160	223
森の京都エリア	938	842	686	523	571	307	293	220	123	201
海の京都エリア	591	624	399	402	654	529	473	406	372	543
京都市以外 合計	2,490	2,307	1,721	1,626	2,078	1,211	941	716	603	909
京都府 合計	7,518	6,668	—	—	7,430	16,578	—	—	—	13,276

※ 福知山市、綾部市の数値は海の京都、森の京都の両方に計上しているため、各エリアの合計値と「京都市以外合計」とは一致しない。

※1 令和2年、3年については、京都市の観光入込客数の数値がないため、京都府全体の観光入込客数は数値なし

※2 令和2年～4年については、京都市の観光消費額の数値がないため、京都府全体の観光消費額は数値なし

2 エリア別観光入込客数及び観光消費額

	観光入込客数(万人)				観光消費額(億円)			
	令和5年 (A)	令和4年 (B)	(A-B)	対前年比 (A/B)	令和5年 (A)	令和4年 (B)	(A-B)	対前年比 (A/B)
京都市エリア	5,028	4,361	667	115%	15,366	—	—	—
竹の里・乙訓エリア	126	137	▲11	92%	33	21	12	162%
お茶の京都エリア	932	810	122	115%	426	233	193	183%
森の京都エリア	938	842	96	111%	307	293	14	105%
海の京都エリア	591	624	▲33	95%	529	473	56	112%
京都市以外 合計	2,490	2,307	183	108%	1,211	941	270	129%
京都府 合計	7,518	6,668	850	113%	16,578	—	—	—

※ 福知山市、綾部市の数値は海の京都、森の京都の両方に計上しているため、各エリアの合計値と「京都市以外合計」とは一致しない。

（次頁あり）

3 もうひとつの京都エリア別観光入込客数等の増減要因【推定】

<竹の里・乙訓エリア>

一部施設の一時休業等により観光入込客数は減少した。一方、飲食店や体験施設での客単価の増加やコロナで中止していたイベントの飲食ブースの再開により観光消費額は増加した。

<お茶の京都エリア>

神社・仏閣等ではインバウンドを中心に観光入込客数が増加したこと、コロナで中止されていたイベントや茶摘み等の体験ツアーの再開、道の駅の利用客が増えたこと等により、観光入込客数、観光消費額ともに増加した。

<森の京都エリア>

車を利用した旅行者が多く、道の駅の利用客が増加したことや、コロナで中止されていたイベントの再開、スポーツ関連施設の利用客が増えたこと等により、観光入込客数、観光消費額ともに増加した。

<海の京都エリア>

コロナ禍でニーズが高かった郊外への旅行が落ち着いてきたため、観光入込客数が減少した。一方、インバウンドが増加してきたことに伴い一人当たりの平均消費額が増加し、観光消費額も増加した。

